

平成29年度 京都地域スーパークラスタープログラム

第1回 回路・システム研究開発グループ研究会

— SiCパワーモジュール技術開発とその応用 —

(公財)京都高度技術研究所は京都府、京都市とともに国立研究開発法人科学技術振興機構の委託事業「研究成果展開事業(スーパークラスタープログラム)」に採択され、平成25年12月よりパワーエレクトロニクスの技術革新により新産業創出への貢献を目指す「クリーン・低環境負荷社会を実現する高効率エネルギー利用システムの構築」を実施しています。

本プログラムの研究開発グループの一つ、「回路・システム研究開発グループ」では、①SiC(シリコンカーバイド)パワーモジュール技術開発とその応用、②高周波スイッチング回路技術開発とその応用の2本柱のもと、大学を中心とする先行技術開発と産学連携による応用開発を組み合わせ、SiCを中心とした次世代パワーエレクトロニクス技術の開発に取り組んでいます。当グループでは本プログラム最終年度にあたり、2回に分けて研究開発の成果を発表し、SiCパワーデバイスの社会実装加速にむけて議論頂く機会を設けることとしました。この度、第1回として『SiCパワーモジュール技術開発とその応用』についての研究会を開催致します。

SiC応用製品の研究開発、あるいはSiCパワーモジュール関連製品の研究開発にご関心をお持ちの幅広い分野の方々のご参加をお待ちしています。

日時 平成29年 8月 8日(火)

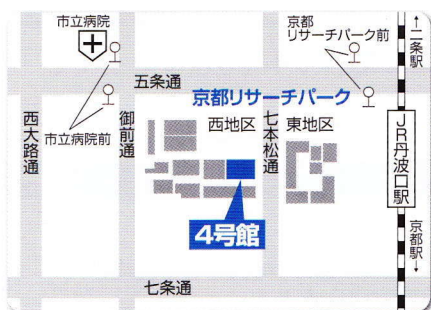
13:30~17:30 (13:00受付開始)

プログラム

- 13:30-13:40 開会挨拶
西本 清一 氏(京都地域スーパークラスタープログラム 代表研究統括)
- 13:40-14:25 「パワーモジュール開発・応用」
舟木 剛 氏(大阪大学大学院工学研究科 教授)
- 14:25-14:55 「モーター制御応用」
柿ヶ野 浩明 氏(立命館大学理工学部 准教授)
- 14:55-15:40 「SiCパワーデバイス実装基盤技術の高度化」
永山 富男 氏(地方独立行政法人京都市産業技術研究所 研究部長 研究主幹)
塩見 昌平 氏(地方独立行政法人京都市産業技術研究所 金属系チーム 次席研究員)
- 15:40-15:50 休憩
- 15:50-16:20 「高速スイッチング動作におけるスナバ回路の有効性」
西山 茂紀 氏(株式会社村田製作所 第2コンデンサ事業部 エキスパート)
- 16:20-16:50 「パワーモジュール用セラミック多層基板の開発」
郡山 慎一 氏(京セラ株式会社 半導体部品セラミック材料事業本部
セラミックパッケージ3事業部 AMB製法開発班責任者)
- 16:50-17:20 ディスカッション
- 17:20-17:30 まとめ
舟木 剛 氏(大阪大学大学院工学研究科 教授)

会場 京都リサーチパーク
4号館2階ルーム1

京都リサーチパーク 西地区 4号館2階
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地



- 電車: JR嵯峨野線 丹波口より徒歩5分
阪急西院 大宮より徒歩20分
- バス: 阪急大宮で市バス32系統に乗車
京都リサーチパーク前で下車

主催 京都府、京都市、公益財団法人京都高度技術研究所

後援 国立研究開発法人科学技術振興機構

申込方法 Webサイト、またはチラシ裏面の申込用紙に必要事項をご記入のうえFAXにてお申し込みください。
【Web】 <http://kyoto.supercluster.jp> 【FAX】 075-366-5341

問合せ先 公益財団法人京都高度技術研究所 スーパークラスター事業推進部
TEL:075-366-5269 FAX:075-366-5341 E-mail: sc_gr@astem.or.jp

参加費 無料

定員 100名

事前申込制&先着順

申込締切 7月31日

